

令和5年度 岐阜県小学校理科研究部会 研究構想

【学習指導要領理科改訂の趣旨】

- 資質・能力の3つの柱の育成
- 理科の見方・考え方を働かせる
- 問題解決の過程のより一層の充実
- 理科の面白さ、有用性の認識
- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 教材や教育環境の充実

【理科の目標】

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
- (3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

【研究の成果と課題】(○：成果 ●：課題)

- 単元で働かせる見方・考え方を教師が把握し単元の中で働かせるように仕組む授業が多くある。
- 言語活動を充実させ、実証性、再現性、客観性を意識した科学的な考察がなされている。
- より妥当な考えを作り出すために、実験結果や考え方の交流の場面などにおける、ICTの効果的な活用がある。
- 資質・能力を育成していくために、働かせる見方・考え方であることを再認識していく必要がある。
- 子供が働かせる見方・考え方を柔軟に捉えていく必要がある。
- 学年ごとに重点とされている問題解決の力をさらに意識して、学年ごとに指導していく。

【目指すべき理科学習指導の方向】

○理科の見方・考え方を働かせる

○質の高い問題解決を図る

- ・科学的な問題解決
- ・より妥当な考えの追究
- ・仲間との合意形成
- ・日常への適用、発展 など

○できるようになったことの自覚

【令和5年度 研究テーマ】(3/3年次)

理科の見方・考え方を意識的に働かせ、自然を追究する理科学習

～問題を科学的に解決するための資質・能力の育成を目指して～

理科の見方・考え方を意識的に働かせる姿を生み出す授業

理科の見方・考え方を意識的に働かせて、自然事象の関連性や規則性、因果関係等を見いだそうと考えること

自然を追究する姿を生み出す授業

主体的に自然に親しみ、自然の中の問題を見だし、見通しをもって観察、実験を行い、仲間と質の高い問題解決を図ること

自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための資質・能力の育成

【研究内容】

1 理科の見方・考え方を意識的に働かせるための手立ての工夫

- (1) 単元構想図を基にした働かせたい理科の見方・考え方の明確化と価値付け
- (2) 理科の見方・考え方を意識的に働かせるための教材・教具と発問の工夫

2 問題解決の力を育成するための指導の工夫

- (1) 問題解決の力を育成するための学習過程の工夫
- (2) 問題解決の力を育成するための指導・援助の工夫

3 学びのよさや高まりを自覚するための評価の工夫

- (1) 学びのよさや高まりを自覚するための振り返りの工夫
- (2) 学びのよさや高まりを自覚するための終末事象の工夫

小学校理科を指導する県内すべての教員が、学習指導要領の内容を熟知し、理科の授業改善を図るとともに、岐阜県の子供たちに確実に資質・能力を育成できるように日々の実践を行う。